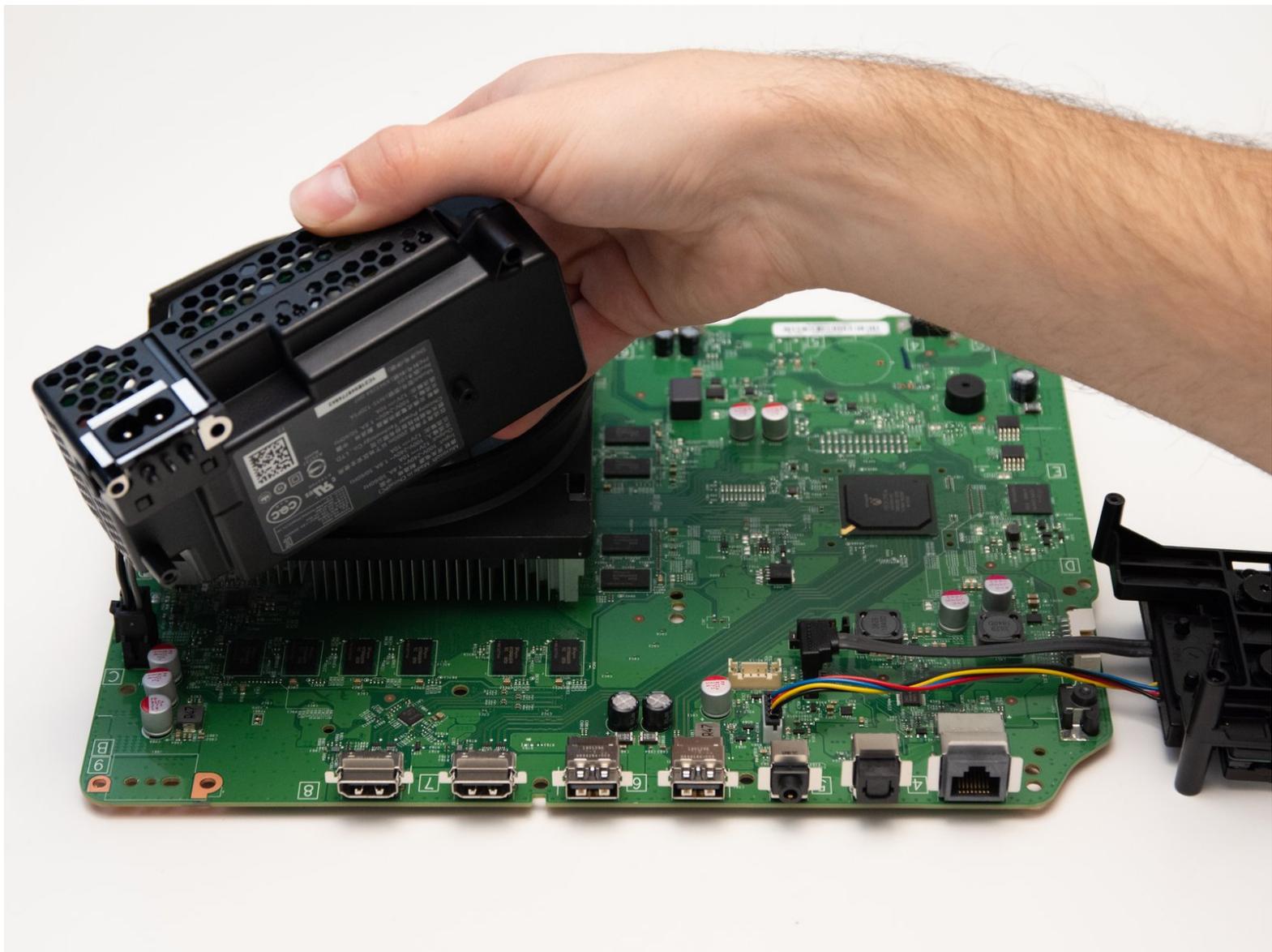




Xbox One S All Digital Edition 電源の交換

このガイドを参照して、電源の入らない、あるいは電源に関する問題のあるコンソールを交換しましょう。

作成者: Jules Hajjar



はじめに

このガイドではXbox One S All Digital Edition (モデル番号1681)の電源に関する問題を解決するべく、電源を交換します。壊れた電源の**症状**は、Xboxの電源が入らない、時々電源が切れてしまうなどの状態があります。他のコンポーネントにダメージを与えないようにしながら、電源の交換を正しく行いたい場合は、コンソール全体の解体が必要です。作業を始める前に、全てのケーブルの接続を外してください。

ツール:

- [iFixit開口ツール](#) (1)
- [TR10 Torx Security Screwdriver](#) (1)
- [T8 Torx Security Bit Screwdriver](#) (1)

部品:

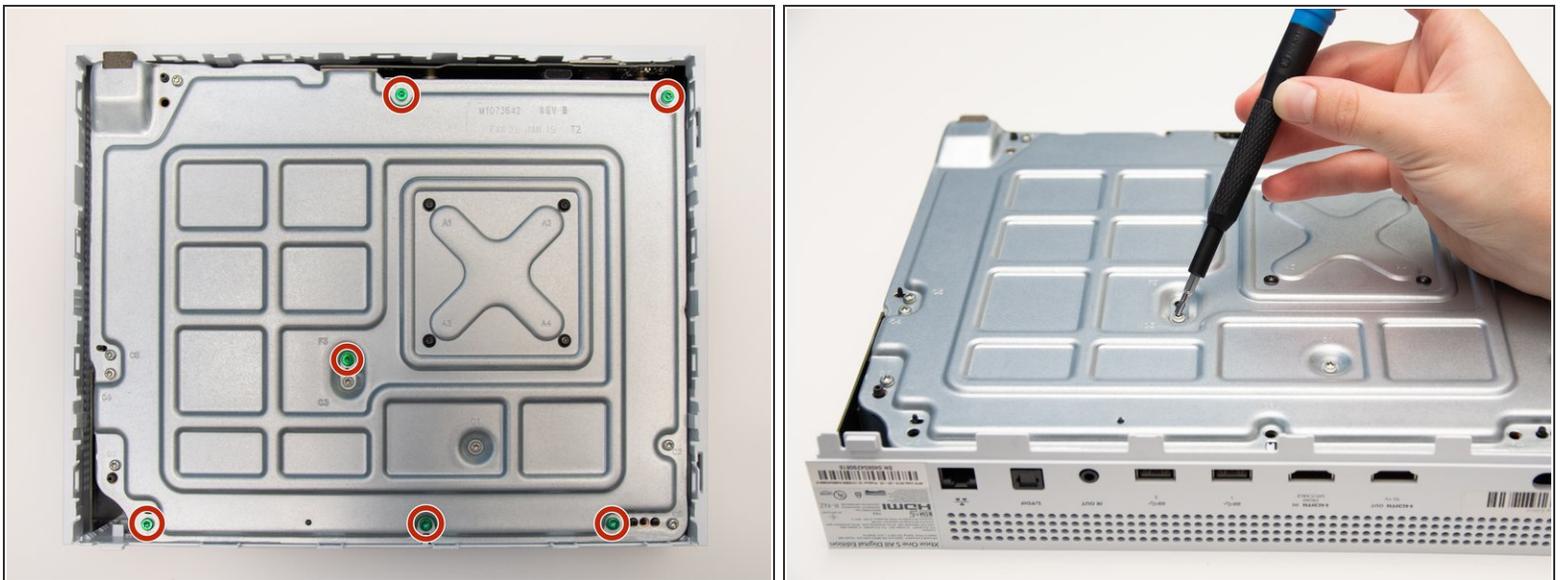
- [Xbox One S Power Supply](#) (1)

手順 1 — プラスチック筐体



- 開口ツールをプラスチック筐体の上下間の隙間に差し込みます。
- 開口ツールを下向きに押し込んで、セキュリティクリップを外します。
- 下部カバーが外れるまで、プラスチック筐体の他のポイントでも同じ作業を繰り返します。

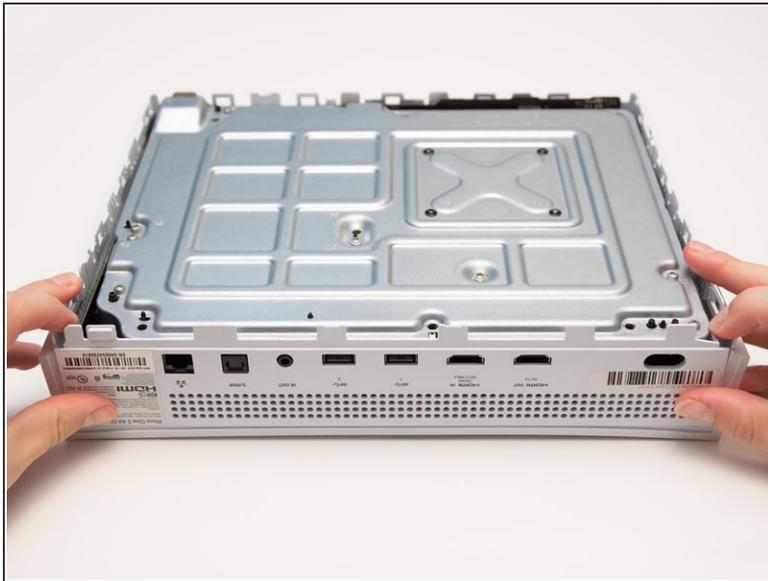
手順 2



- トルクスT10ドライバーを使って、メタル製シャーシーから50mmグリーンのネジ(F1-F6とラベル付き)を6本外します。

ⓘ これらのネジは、プラスチック筐体の上部カバーとシャーシーを固定しています。

手順 3



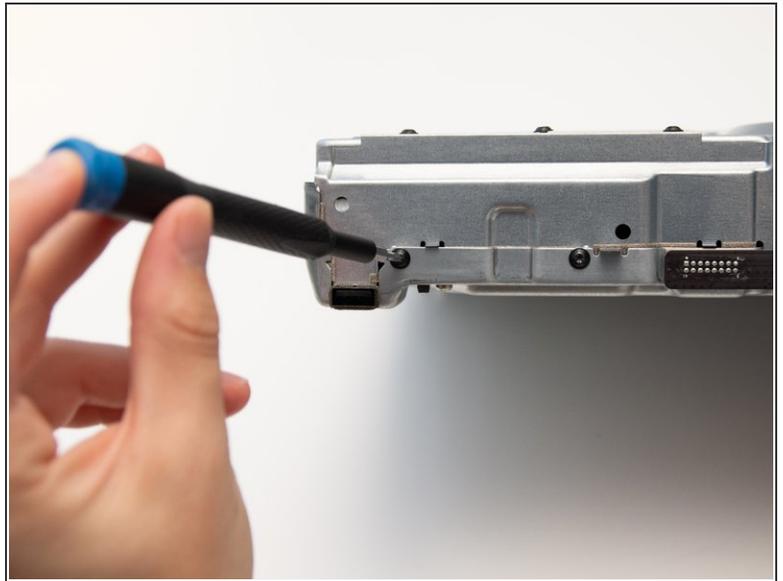
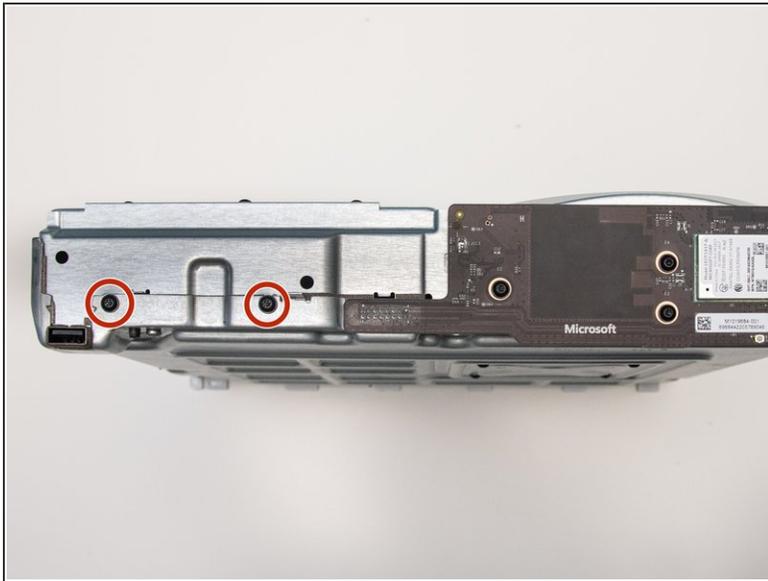
- ケース横にプレッシャーを加えて外します。
- シャーシの裏側を持ち上げて、上部カバーから外して、上部カバーからメタル製シャーシを取り出します。
- ① プラスチックのバックパネルはメタル製シャーシに装着したままにします。

手順 4



- メタル製筐体を裏返すと、ファンのカバーが上部に配置されます。

手順 5 — 上部メタルシールド



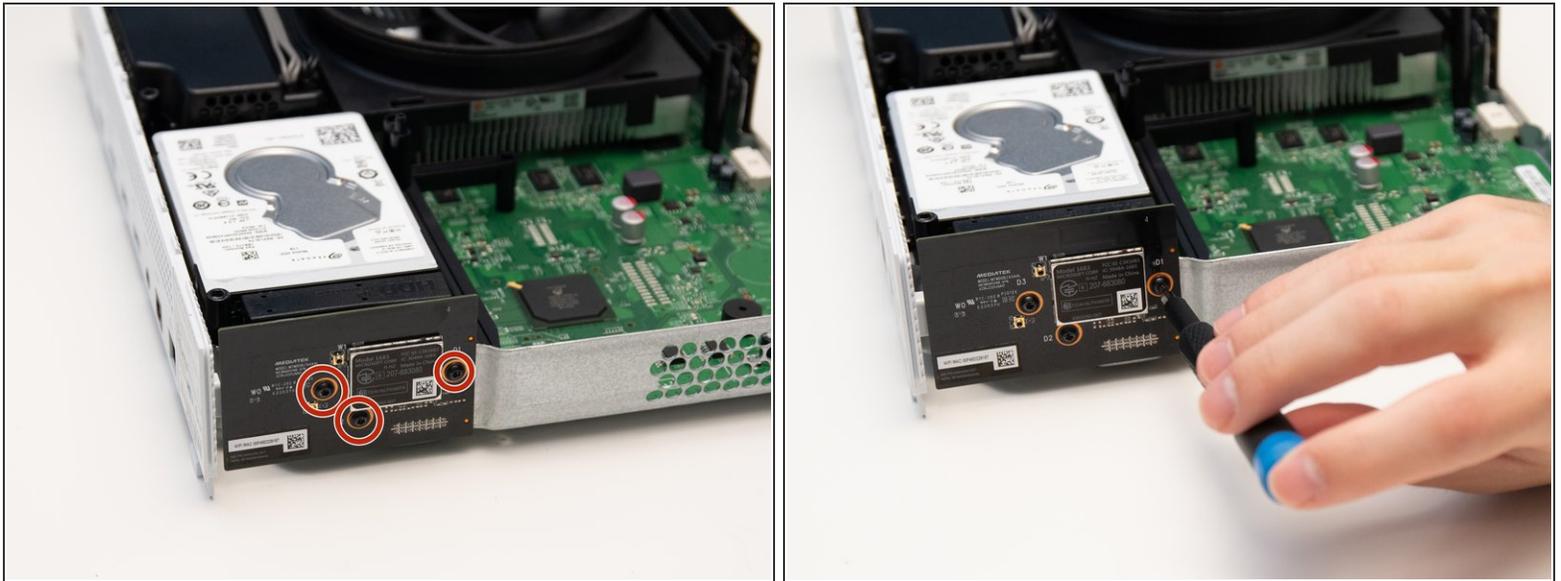
- トルクスT8ドライバーを使って、フロントパネルから15mmネジを2本外します。

手順 6



- フレームから上部メタルケースを慎重にスライドします。

手順 7 — Wi-Fiカード



- トルクスT8ビットドライバーを使って、15mmネジを3本外します。

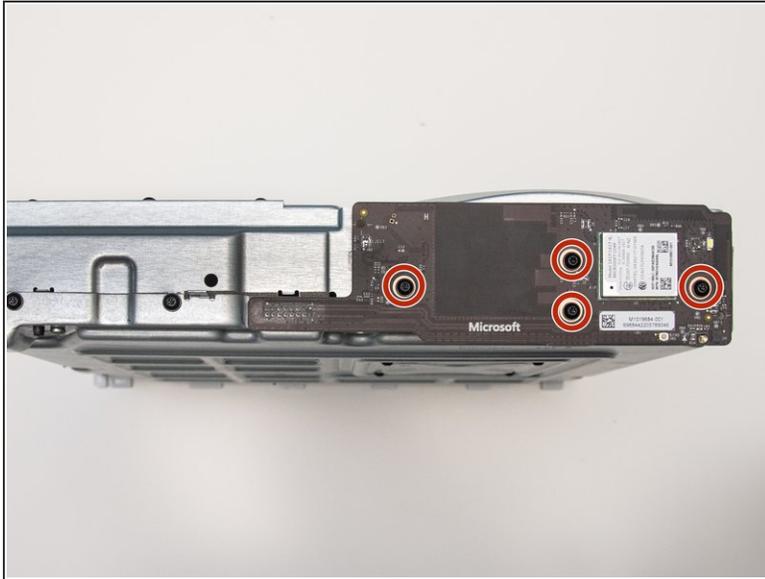
i この画像ではメタル製シャーシの上部が外れていますが、この交換では外す必要はありません。

手順 8



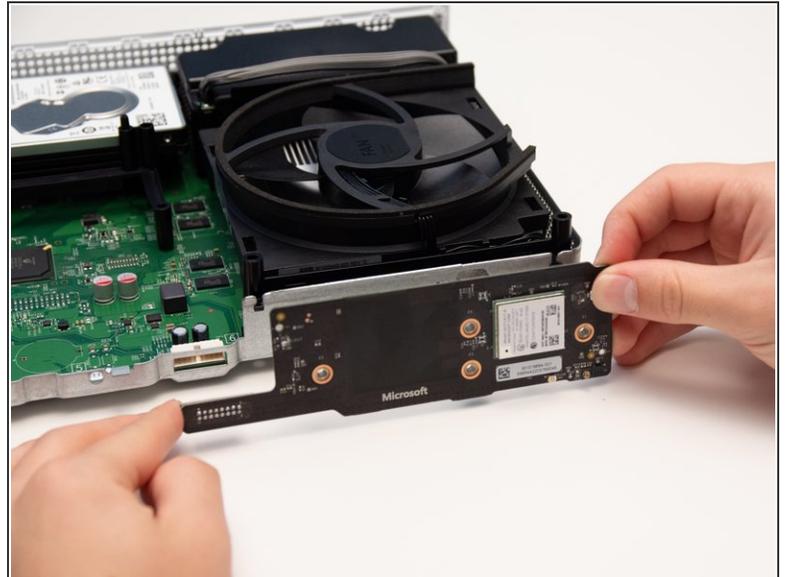
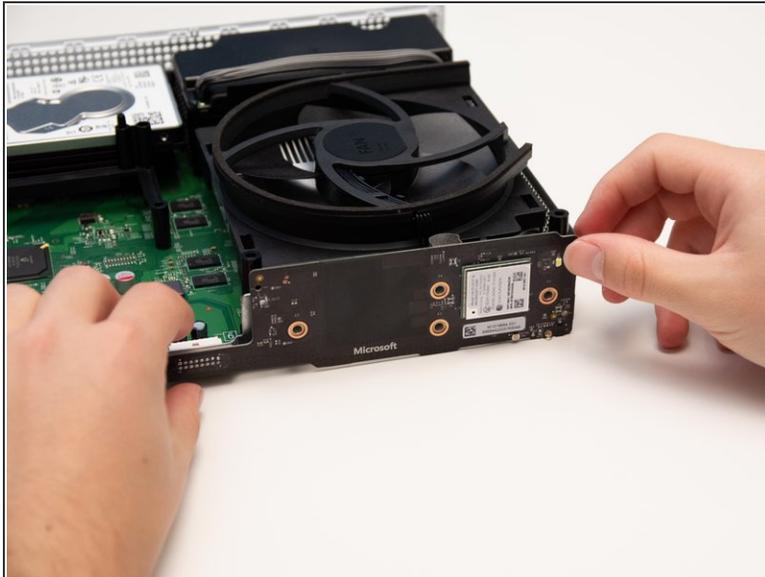
- Wi-Fiカードをメタル製シャーシから慎重に取り出します。

手順 9 — IRブラスター



- トルクスT8ドライバーを使って、メタル製シャーシーにIRブラスターを繋げている15mmネジを4本外します。

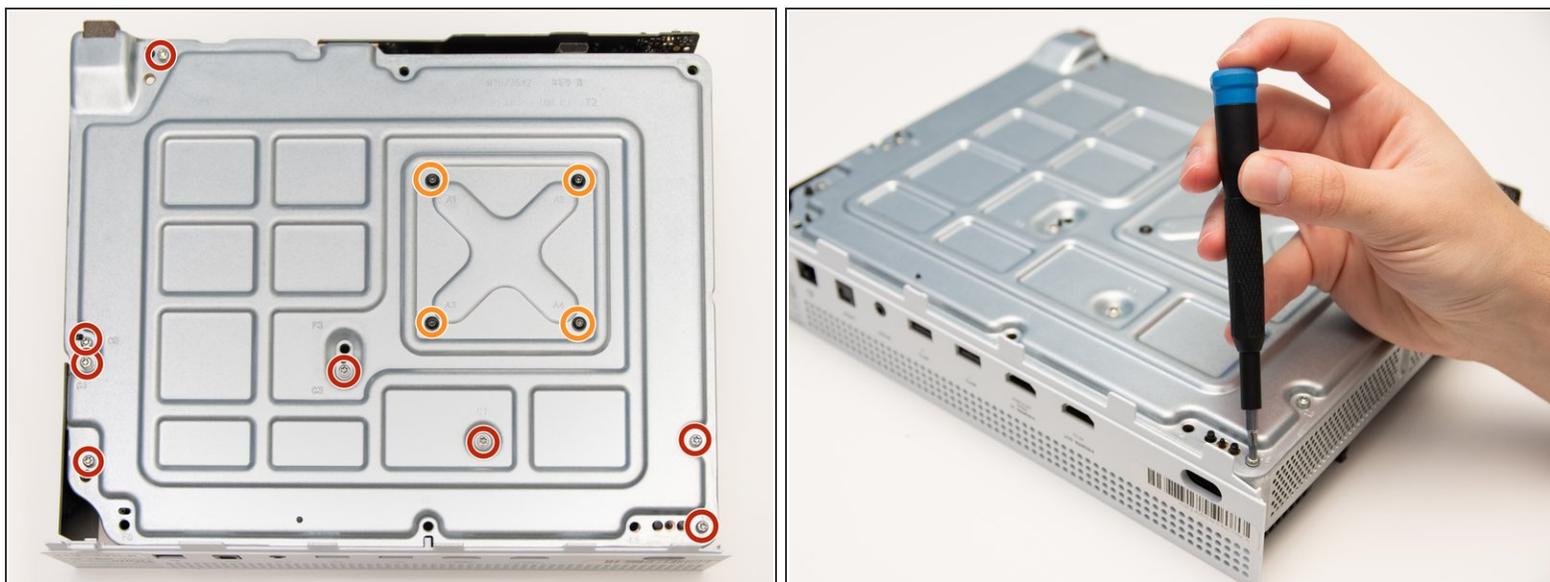
手順 10



- メタル製シャーシから、IRブラスターを慎重に取り出します。

! コネクタは非常にデリケートです。ボードをケースから引き抜いてください。横にスライドしないでください。

手順 11 — 下部メタルシールド



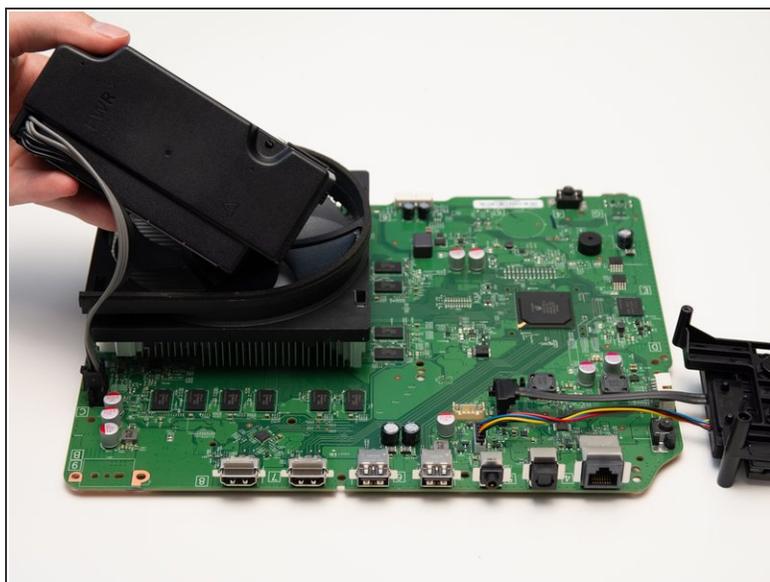
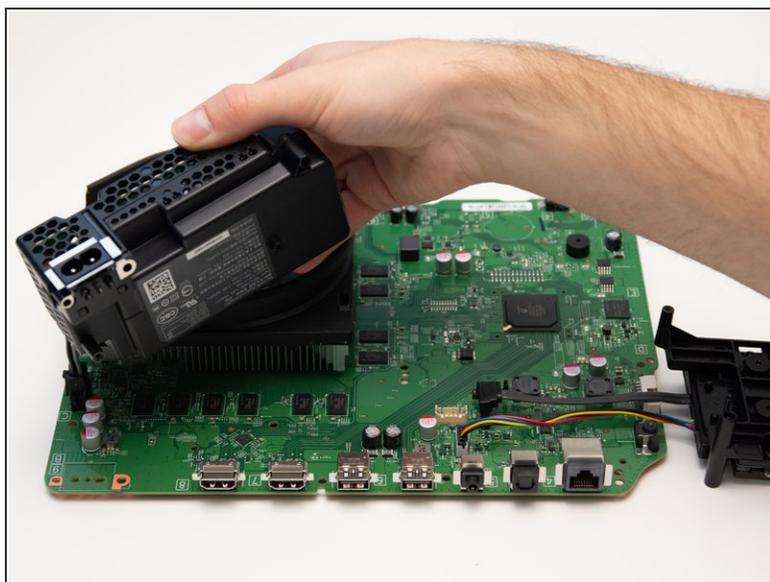
- トルクスT9ドライバーを使って、メタルケーシングの底から10mmネジを8本外します。
- トルクスT8ドライバーを使って、ヒートシンクファスナーの底から15mmネジを4本外します。

手順 12



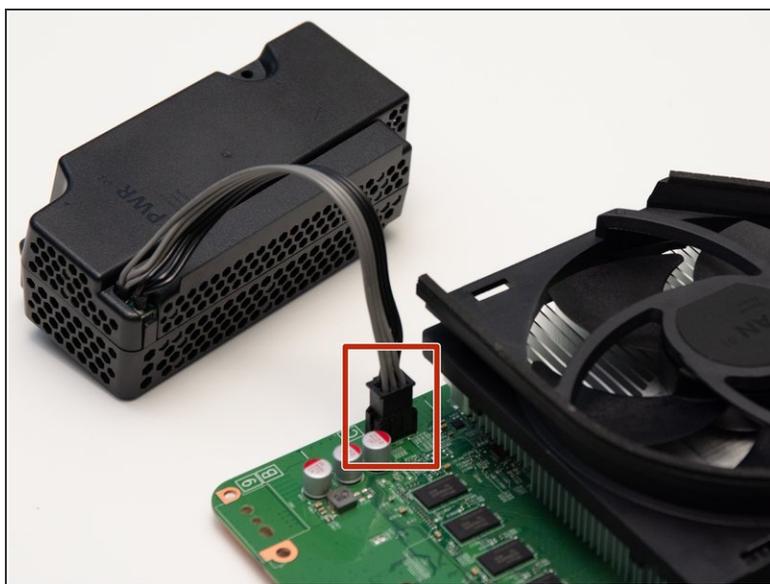
- マザーボードから2つのプラスチックパーツを取り出します。

手順 15



- マザーボードから電源を持ち上げて、外します。

手順 16



- マザーボードから6つのピンコネクタの接続を外します。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。